（10）腹部超音波健診

腹部超音波健診概要

年齢階層別実施状況 （所見別・判定別）

精密検査受診成績 （年齢階層別）

腹部超音波健診概要

今年度は2村から住民健診の依頼があり357名の受診者に実施した。

年間の実施日数は13日であり、1日当たり平均27.5を検査した（表1）。

受診者総数357人を男女別でみると、男性144人（40.3％）、女性213人（59.7％）であった（図1）。

年齢階層別では、60代113人（31.7％）、70代104人（29.1％）、50代57人（16.0％）、40代53人（14.8％）の順となっている（図2）。

健診結果の指導区分は、要精密検査42人（11.8％）、要経過観察186人（52.1％）、異常所見なし129人（36.1％）。男女別での要精検率は女性が10.8％、男性が13.2％と男性が高かったが、要経過は男性・女性とも52.1％と同ポイントを示した(表2)（図3）。

総合健診センター　　**表１　受　診　者　数**

	予定数	受診者数	実施率(%)	実施日数	一日当たり実施数
出張健診	360	357	99.2	13	27.5

図１ 受　診　者　数（男女別）

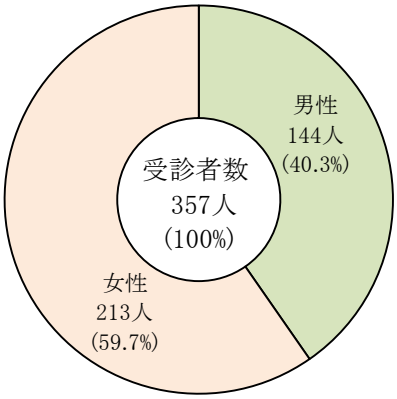

図２ 年齢階層別受診状況

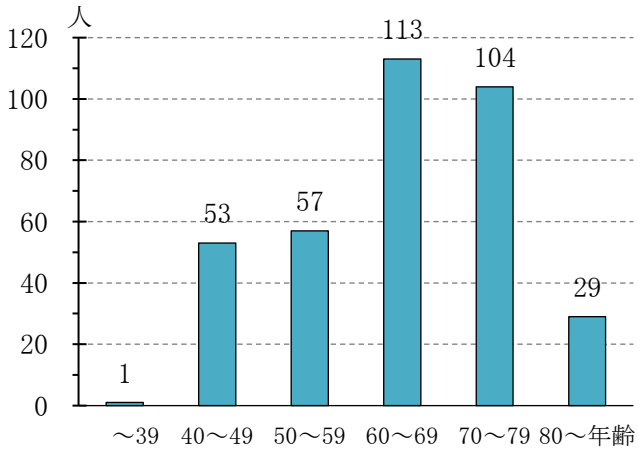

表２ 男女別受診者数

	男　性			女　性			合　計		
	受診者数	要経過観察率(%)	要精密検査率(%)	受診者数	要経過観察率(%)	要精密検査率(%)	受診者数	要経過観察率(%)	要精密検査率(%)
出張健診	144	75 (52.1)	19 (13.2)	213	111 (52.1)	23 (10.8)	357	186 (52.1)	42 (11.8)

検査結果は「要経過観察」と「要精密検査」で受診者の63.9％を占め、有所見別延べ数の対受診者割合は腎嚢胞20.7％、肝嚢胞17.4％、胆嚢ポリープ15.4％、脂肪肝15.1％、胆嚢結石症5.9％、腎石灰化4.5%などであった(表3)。

図３ 指 導 区 分

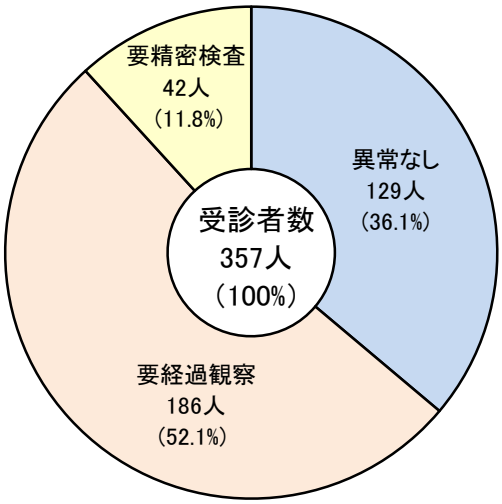

表3 有所見別割合

所 見	有所見延数	対受診者割合(%)
腎嚢胞	74	20.7%
肝嚢胞	62	17.4%
胆嚢ポリープ	55	15.4%
脂肪肝	54	15.1%
胆嚢結石症	21	5.9%
腎石灰化	16	4.5%
胆嚢摘出	15	4.2%
肝内石灰化	11	3.1%
肝血管腫	8	2.2%
副脾	6	1.7%
膵嚢胞	5	1.4%
胆管拡張	5	1.4%
その他	39	10.9%

〈精検受診状況〉

要精密検査者42人のうち精検受診者は35人(83.3％)で、男女別の精検受診率は、男性の73.7％に対し女性は91.3％と、女性が17.6ポイント高かった(表4)(図4)。

精検受診者の主な発見疾患は、胆嚢結石症8件(2.2%)、膵嚢胞5件(1.4%)、、腎嚢胞2件(0.6%)、肝血管腫2件(0.6%)などの診断であった(表5)。

表４ 精検受診状況 (男女別)

	男 性			女 性			合 計		
	受診者数	要精検者数 率(%)	精検受診者数 率(%)	受診者数	要精検者数 率(%)	精検受診者数 率(%)	受診者数	要精検者数 率(%)	精検受診者数 率(%)
出張健診	144	19 (13.2)	14 (73.7)	213	23 (10.8)	21 (91.3)	357	42 (11.8)	35 (83.3)

図4 精検受診状況

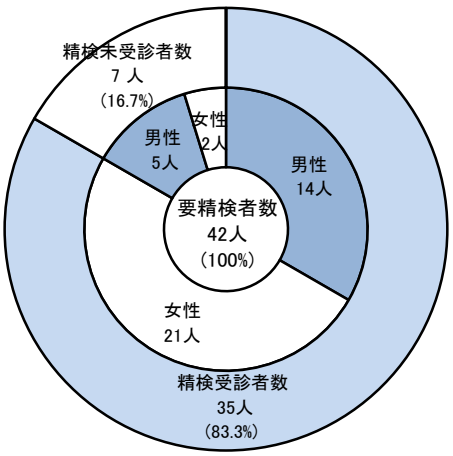

表5 有所見別割合

所 見	有所見延数	対受診者割合(%)
胆嚢結石症	8	2.2%
膵嚢胞	5	1.4%
腎嚢胞	2	0.6%
肝血管腫	2	0.6%
肝嚢胞	2	0.6%
胆嚢壁在結石	2	0.6%
腹部大動脈瘤	2	0.6%
慢性腎不全	1	0.3%
その他	10	2.8%

年齢階層別実施状況

（所見別）　（複数の所見が有る者がいるため所見の延べ数としている）

所見別		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
肝臓	肝嚢胞			4	15	21	18	4	62
	脂肪肝			10	13	19	10	2	54
	肝内石灰化				2	2	5	2	11
	肝血管腫			1	3	2	2		8
	肝腫瘤					1	2		3
	肝その他			1					1
	計			16	33	45	37	8	139
胆道系	胆嚢ポリープ		1	8	11	17	13	5	55
	胆嚢結石症			3	2	11	5		21
	胆嚢摘出			1	3	5	4	2	15
	胆管拡張					1	3	1	5
	胆嚢腺筋症			1	1		2		4
	胆嚢壁肥厚				1	1	1		3
	胆嚢腫瘤				1				1
	計		1	13	19	35	28	8	104
膵臓	膵嚢胞						4	1	5
	膵管拡張					1	1	1	3
	膵腫瘤			1				1	2
	膵描出不良					2			2
	計			1		3	5	3	12
腎臓	腎嚢胞		1	1	9	22	31	10	74
	腎石灰化			2	2	8	3	1	16
	水腎症					1	3		4
	腎腫瘤				2	1	1		4
	腎結石症				2			1	3
	重複腎盂			1					1
	馬蹄腎						1		1
	腎その他				1	1		1	3
	計		1	4	16	33	39	13	106
脾臓	副脾			3		1	2		6
	脾嚢胞						1		1
	計			3		1	3		7
その他	腹部大動脈瘤						2		2
	その他							1	1
	計						2	1	3
合計			2	37	68	117	114	33	371

（判定別）

指導区分								合計
異常所見なし			27	25	44	27	6	129
要経過観察		2	23	33	57	53	18	186
要精密検査			3	7	14	15	3	42
計		2	53	65	115	95	27	357
要精検率(%)			5.7%	10.8%	12.2%	15.8%	11.1%	11.8%

精密検査受診成績 （年齢階層別）

（複数の診断が有る者がいるため診断の延べ数としている）

	診 断 別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
肝臓	肝血管腫				1		1		2
	肝嚢胞					1	1		2
	肝内石灰化						1		1
	計				1	1	3		5
胆道系	胆嚢結石症			1		7			8
	胆嚢壁在結石				1	1			2
	胆泥				1				1
	胆嚢ポリープ				1				1
	胆嚢腫瘤疑い						1		1
	慢性胆嚢炎				1				1
	胆管拡張							1	1
	計			1	4	8	1	1	15
膵臓	膵嚢胞			1		1	3		5
	膵腫瘤						1		1
	慢性膵炎疑い					1			1
	計			1		2	4		7
腎臓	腎嚢胞						2		2
	慢性腎不全							1	1
	腎盂拡張						1		1
	計						3	1	4
その他	腹部大動脈瘤						2		2
	その他					1			1
	計					1	2		3
	異常所見なし				1			1	2

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
要精検者数			3	7	14	15	3	42
精検受診者数			2	5	12	13	3	35
精検受診率(%)			66.7%	71.4%	85.7%	86.7%	100.0%	83.3%

年度別健診推移

年度	受診者数	有所見者数 率(%)		要精検者数 率(%)		精検受診者数 率(%)	
平成29年度	349	208	(59.6)	34	(9.7)	28	(82.4)
平成30年度	403	249	(61.8)	47	(11.7)	39	(83.0)
令和元年度	357	228	(63.9)	42	(11.8)	35	(83.3)